

研究報告

2015/08/08 M2 厚田耕佑

実施内容

NI の電話対応でプログラムの改善を行った。

実際の MEMS ミラーの駆動周波数において正しい情報が取得出来ているかを確認した。高速軸のおよそ 10 倍の周波数のカウントを入れた。

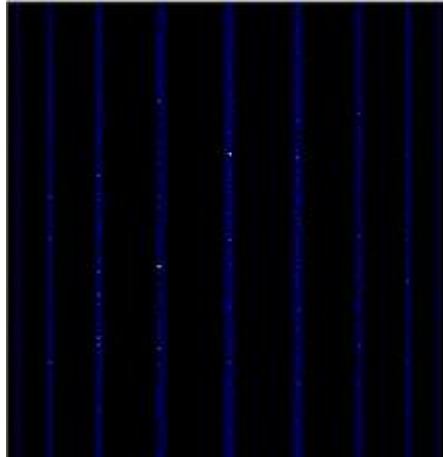


Fig.1 倍数周波数によるムラのイメージ

次に、スキヤンの半分程度を隠し、パウダーを見た。縦軸の位相を調整すると、以下のように半分が隠れたものが取得できた。まだ、イメージのようには見えていないため、位相の修正や積算などを行いイメージングを試みる。

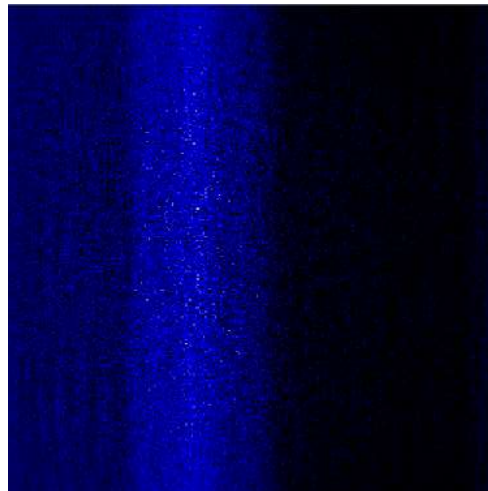


Fig.2 SHG 信号

今後の予定

ディスカッション@NI

MEMS ミラーでのイメージ取得